

深めよう 地域のふれあい 広めよう ふくしの輪

ふくし白方

白方地区社会福祉協議会広報誌

第 5 号

発行責任者 富山 明
編 集 総務グループ

事務局 白方コミュニティセンター
TEL 029(287)3534

平成22年度定期総会を開催



富山会長の挨拶

4月25日(日)、白方地区社会福祉協議会総会が白方コミュニティセンターにおいて開催されました。来賓として、川崎福祉課長、黒羽根社会福祉協議会会長、稲川常務理事のご出席をいただきました。

富山会長の挨拶の後、議事に入り、平成21年度の事業報告及び収支決算報告並びに会計監査報告、平成22年度事業計画及び予算が提案され審議の結果、全会一致で承認され無事終了しました。

本年度の事業計画

- ふれあい型食事サービス事業
- 見守りネットワーク事業
- ふれあい敬老会事業
- ふれあい・いきいきサロン事業
- 調理担当研修会
- 小地域福祉活動の推進
- 広報誌発行事業
- ふれあい協力員の強化

第14回ふれあい福祉まつり開かれる

～誰もが共生できる社会を～

6月5日(土)、総合福祉センター「絆」で今年も「ふれあい福祉まつり」が開催されました。

白方地区社会福祉協議会もこれまでの活動状況をまとめて、パネルを展示しました。



パネルによる展示状況

『ふれあい協力員研修会開催』

白方地区社協

7月31日(土)、白方コミュニティセンター多目的ホールにおいて、白方地区社協ふれあい協力員96名が参加して研修会が開催されました。

今回は、「見守り活動あれこれ」～やってみて実感、やってみて不安、そしてやってみたら気づくこと～をテーマに、稲垣美加子先生(淑徳大学准教授)を迎え、見守り活動のいろは、訪問のマナー・姿勢などを聴講しました。

その後、村社協職員による訪問場面の寸劇が実演され、寸劇に対しての良かった点、気をつけた方が良い点について、12グループに分かれてディスカッションをしました。

参加したふれあい協力員からは、「寸劇があったので、ただ話を聞いたのとは違い分かりやすかった」との感想をいただきました。

本日の研修が、今後の活動に活かされますよう頑張っていきたいと思います。



稲垣先生の講演



訪問場面の寸劇



グループによるディスカッション



各地域ではこんな活動をしています

村松北地域

ふれあい花見会

平成22年 4月10日(土)、75歳以上の招待者26名と、ふれあい協力員36名が参加して、東海中学校の「ふれあい花見会」を開催しました。

恒例の俳句会では31句が即席、出品紹介されました。



白方地域

世代間交流会 (8月23日・白方コミセン)

参加者：約30名 (子供・お父さん、お母さん・おじいちゃん、おばあちゃん)

催し：子供さんたちと一緒に水鉄砲と竹とんぼづくりをし、実験して楽しいひと時を過ごしました。



岡地域

ふれあい食事会

4月28日の岡区集会所「ふれあい食事会」のときの1コマです。

ひょっとこお面で、どじょうすくいを踊っているところです。



百塚地域

百塚ちびっ子広場 (7月1日・百塚集会所)

私たちは、母と子と地域とのふれあいの出来る場所が少ないと考え、百塚集会所に“ちびっ子ひろば”を月1回開設することにしました。第1回の様子です。



亀下地域

いきいきサロン

7月26日、区内在住の75歳以上の方を対象に、村社協のバスで総合福祉センター「絆」に向かい、高齢者センターの大広間にてフラダンス、リハビリ体操などのレクリエーションや昼食、入浴で楽しみ、集会所で行うサロンと一味違ったサロンでした。

参加者：高齢者22名、会員21名



豊白地域

「ふれあい交流会」 in いきいきサロン

6月27日(日)、自治会福祉専門部会との共催で、豊白集会所において区内の高齢者、喜楽会(高齢者の会)、子供会を対象に、約100名が参加して行われました。



豊岡地域

4月～7月の実績

見守り活動：3名の方を対象に、延べ16名のスタッフが安否確認と交流を行いました。
ふれあい食事会：6名の方と一緒に、豊岡集会所で延べ33名のスタッフが、食事やレクリエーションを楽しみました。

あなたも『ふれあい協力員』としてボランティア活動をしてみませんか!!

本会の事業は全て「ふれあい協力員」の活動が基盤となっています。できるだけ、多くの地域住民の方に活動への参画をしていただくことが地域福祉充実の鍵となります。本会では多くの方々に協力を願って、いつでも「ふれあい協力員」の希望者を受け付けております。ふれあい協力員となって地域福祉活動に参画してみようと思っておられる方は下記までご連絡ください。

白方地区社会福祉協議会事務局

TEL 287-3534